



2008～2009年度RI会長 李東建



東京赤坂ロータリークラブ

No.1015 / 2008.9.26

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

<http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka>

Weekly Report 東京赤坂ロータリークラブ週報

「夢にむかって、楽しくロータリー」

2008～2009年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 村山公士 会長

●本日の例会 / 2008年9月26日 第1039回例会

ブッフスタイル例会のため、卓話はございません。

— ●先週報告 / 2008年9月12日 第1038回例会 —

RI2750地区新藤信之ガバナー公式訪問

◎ガバナー・会長・幹事・会長エレクト懇談会

10:00～11:00



◎東京赤坂RC・東京麻布RC 合同例会

12:30～13:30



ご来賓

- RI第2750地区 ガバナー
新藤信之氏 (東京立川こぶしRC)
- 千代田グループ ガバナー補佐
星野欣也氏 (東京南RC)
- 千代田グループ グループ幹事
手貝哲夫氏 (東京南RC)



◎卓話『ガバナー公式訪問にちなんで』

RI第2750地区ガバナー 新藤 信之 氏
(東京立川こぶしRC)

今年度、李東建RI会長は、強調事項として「水、保健と飢餓、識字率の向上」を掲げられました。現在、年間970万人の子供たちが治療可能な病気で命を落としています。特にアフリカや東南アジアでは、食料不足や栄養不良で多くの幼い命が奪われています。李会長は「子供たちが死ぬのは、誰も助けることができないからではなく、助けがないからである」と、われわれに再考を促しておられます。

The ideal of serviceの訳はいろいろありますが、つまりは、「思いやりの心」ということです。ロータリー



の初代事務総長チェスリー・ペリーは、ロータリーを「他人のために尽くす所」と呼び、村野パストガバナーは、孔子の「忠恕」という言葉になぞって説いておられました。李会長は、「世界中のロータリアンが一致して事を起こせば、世界は必ず変わる」という強い信念を持っておられます。この1年間、皆様には活動の中で李会長のお気持ちをぜひ形にしていきたいと思ひます。

国際協議会のキーワードはchangeです。創始者のポール・ハリスも「ロータリー物語は、何度も書き換えられなければならない」と言っています。ロータリーに求められているのは、まず組織の管理方法についての変化で、能率や費用対効果を考えて改善していかなければ、組織は制度疲労を起こしてしまいます。もう一つは、奉仕活動の領域、対象を変えていくことです。時代のニーズに従い、奉仕活動の実践分野を変えていかなければ、国際社会からも地域社会からも受け入れてもらえなくなるでしょう。

実は、これはCLPに関係する話でもあります。私はクラブ奉仕委員長、情報委員長、CLP担当の研修リーダー補佐として、皆さんにCLPを採用していただくようお願いしてきましたが、今それが皆様に迷いを生じさせていることに、大きな責任を感じています。1985年後半から、RIがクラブの拡大と会員増強を奨励した結果、90年代前半には多くのクラブができて会員も増えましたが、1997年をピークに会員は減少し、会員数の少ないクラブが目立ってきました。秋田にある2540地区の場合、会員数1140名で42クラブありますが、10名未満のクラブが四つ、10～20名未満のクラブが16という状況です。これは特別な話ではなく、クラブは確実に小粒化してきています。そんな中、登場したCLPは、小規模クラブのための方法論であって、大きなクラブには関係ないと誤解されていました。

もう一つの誤解は、さらに重大です。今までロータリー細則には、4大奉仕を軸に18の委員会が規定されていましたが、現状では実行が難しくなってきました。そこでCLPでは、クラブの運営と奉仕プロジェクトの委員会を核に、クラブの歴史や規模等に応じた委員会を構成することにしたのですが、日本に伝えるときの会長要覧に、以前の細則にあった18の委員会を加えた組織図を示したこともあって、それが残影として残ってしまいました。そういうことが、CLPの基本的な考え方を誤って伝える一因になったと思います。

麻布ロータリークラブの委員会組織には、五つの常設委員会に委員長と副委員長と委員が配置されており、担当するものの例示として、今までの細則にあった委員会名が書かれています。大変優れた組織ではありますが、さらに進んだ考え方をされているクラブの例をご紹介しますと、会員数32名の多摩グリーンロータリークラブでは、クラブ運営管理関連組織および委員会と、奉仕プロジェクト関連組織および委員会の二つを軸に委員会を構成しておられますし、会員数160名の東京西クラブでは、奉仕プロジェクト委員会とクラブ奉仕委員会を核に会員を配置しておられます。また、クラブが独自で行っているものとしては、TEN for

TWO委員会、シスタークラブ委員会、むつみ会担当委員会などがあります。

今後皆様にはCLPの基本に戻って、地域社会で何ができるか、そのためにはどういう組織で運営、管理すべきかという観点から、見直していただきたいと思います。奉仕活動も、委員会ごとではなく、奉仕全体で考えることで、可能性は広がるでしょう。

今回私は、ガバナー月信を会長幹事と委員長にだけ配ることで組織の簡素化を図るとともに、地区の委員会の活動記録をウェブサイト上に載せて毎月更新することで、活動記録のPDF化により、いつでも引っ張り出したり、外へ向けて発信することを可能にしました。

皆様には、私が申し上げたことを取捨選択して、クラブの活動に生かしていただければと思っています。クラブの大小にかかわらず、それぞれが特徴を出して、2750地区のクラブがより活性化することを切に願っています。

出席報告：（順不同・敬称略）

会員53名／出席26名・欠席27名（出席規定免除者6名）

東京麻布RC 会員23名 出席14名・欠席8名
ゲ ス ト／鈴木貞史（元会員） 計1名

ビジター／RI第2750地区 ガバナー 新藤信之（東京立川こぶしRC）、千代田グループ ガバナー補佐 星野欣也（東京南RC）、千代田グループ グループ幹事 手貝哲夫（東京南RC） 計3名



9月19日

14件 59,000円／本年度累計350,000円
多額のご寄付をありがとうございました。（敬称略）

東京麻布RC・会長 横関和生、副会長 伊藤照代、幹事 佐々木敦也、クラブ運営委員長 仁科君子、奉仕プロジェクト委員長 辻穂高／新藤ガバナー公式訪問、および星野ガバナー補佐、手貝グループ幹事のご来訪と東京赤坂RCとの合同例会を祝して。東京麻布RC 鈴江京子／先日は赤坂ロータリークラブにお世話になりました。ニコニコ致します。土屋東一／石井さん、ご苦労さま！渡部一元／ガバナー公式訪問を心よりお迎えして。四分一勝／ガバナー公式訪問を祝して。松永秀和／来週日曜日（9/28）矢来能楽堂で能「杜若」のシテを演じます。尾関武男／新藤ガバナーをおむかえし、麻布RC合同例会を祝して。庄司泰典／合同例会を祝して。長谷川弘志／祝合同例会。武下朗／石井さんにニコニコ。小林博茂／明朝6時、台風が関東直撃です。石井さんニコニコお疲れです。荒木昭文／新藤ガバナー公式訪問を歓迎して。小原健／合同例会を祝して。高須康有／合同例会を祝して。

●次週予告／2008年10月3日 第1040回例会

◎卓話予定：『伝えたい相撲の楽しさ』

元大相撲力士（小結 三杉里関） 岡本 公似 氏